

広報

ふながた



10月10日
稲刈り(小松地内)

2016年

No. 692

10

知事と語る市町村ミーティングinふながた

地域の課題について吉村県知事と話し合う



9月15日、「知事と語る市町村ミーティングinふながた」が舟形町中央公民館を会場に、約150名の参加のもと開催されました。

これは、「心の通う温かい県政」を掲げる吉村美栄子知事が、県民や市町村の声を活かした県民のための県政を推進するため、施策や地域が抱える問題について、地域の方と直接意見交換を行うものです。

「住んでいる人が誇れるまち、豊かな舟形を目指して」というテーマで、主に次の内容について吉村知事と意見を交わしました。

- 堀内橋の架け替え時期
- 読育環境推進への支援
- 山形112号の販売戦略、つや姫の作付拡大や園芸作物の機械導入支援
- 県立新庄病院へ救命救急センターの設置と認知症疾患医療センター整備
- 県道新庄長沢尾花沢線の冬季除雪と防雪柵の設置
- 釣り客の安全確保のための警報システムの整備
- 地震等の自然災害への防災対策 他

また、町内視察も行われ、吉村知事がサケふ化場、鮎中間育成施設や舟形マツシユールームを訪れました。

Cover Person ~表紙の紹介~



10月10日、小松地内での稲刈りの様子を撮影しました。
たわわに実った稲穂を、真剣な表情で丁寧に収穫していました。

広報 ふながた 10

もくじ ~Contents~

- P3..... ふなびく
- P4..... シリーズ「学び伝えたい 食育でつながる地域と健康づくり」
- P8..... 平成27年度決算報告
- P10 ... 陵風会との合意解約等に関する合意書を締結
- P11 ... 地域公共交通の未来を考えよう
- P12 ... 舟形町名誉町民 伊藤 茂 元運輸大臣を偲んで
- P13 ... 舟形町スポーツフェスティバル
- P14 ... まちのわだい
- P16 ... ふれあい広場
 - ・チーム舟中新人戦で奮闘
 - ・秋季火災予防運動
- P18 ... 青いシグナル、カメラアングル
- P19 ... 舟恋、戸籍の窓
- P20 ... シリーズ「地域のたから」

町長コラム

「ご冥福を お祈りいたします」

たいへん、悲しいことですが、9月11日に名誉町民であります、元運輸大臣の伊藤茂氏が、ご逝去されました。伊藤氏は、昭和51年衆議院議員に初当選以来、連続8期23年半にわたり衆議院議員として、国政の場で活躍されました。その間、平成5年に細川内閣の下で、舟形町から初めての大蔵大臣、運輸大臣となられ、山形新幹線新庄延伸等、舟形町及び新庄最上地方郷土発展のため、ご尽力いただきました。

なお、名誉町民の方が亡くなられた場合は町葬の慣例でありましたが、ご遺族の希望で家族葬となりました。また、町から香典を奉呈いたしました。舟形町の子どもたちの教育に役立ててほしいと、全額寄付していただきました。ご生前のご功績を偲び、心から、ご冥福をお祈りいたします。

森 富広



シリーズ 学び伝えたい 食育でつながる地域と健康づくり②

～ 舟形町食育・地産地消推進計画 ～

シリーズ「学び伝えたい 食育でつながる地域と健康づくり」では、舟形町食育・地産地消推進計画の概要やその取り組み、食と健康、食文化の継承、地産地消の現状等について紹介しています。元気で健康に暮らすために、町や地域、そして私たち一人ひとりに何ができるのか、一緒に考えていきましょう。

広報7月号に掲載した第1回は「食生活と健康」の観点から、町の現状や取り組みをお伝えしました。

2回目の今回は「安心安全な食と地産地消」について、町や舟形町社会福祉協議会、舟形町食生活改善推進協議会、舟形小学校での取り組みを中心に紹介していきます。



一人暮らしの高齢者等のためのお弁当づくり

みなさんにとっての安心安全な食とは何ですか

近年、食品表示偽装や期限切れ食肉の使用、冷凍食品への残留農薬や食中毒など、食品の安心や安全を揺るがす事件が多くありました。

特に、福島第一原子力発電所の事故による放射性物質の拡散問題では、県内でも風評被害を受けたことから、県産農畜産物等については放射性物質検査等を実施し対応しています。

みなさんにとって「安心安全な食」とはどのようなものですか。現代においては、各種メディアやインターネットなどにより、食に関してさまざまな情報が氾濫しています。これからは正しい知識をもとに、「自分自身で良いものを選ぶ力」を育んでいくことが重要となってきます。日々を元気で健康に暮らすために、食に関する情報や正しい知識を身に付け、安心安全な食の選択眼を養っていきましょう。

地産地消の意義

食の安心安全を守るには、地域の農林水産業を守ることも大切です。その指標の一つが食料自給率です。食料自給率とは、国内の食料消費を、国内の農業生産でどの程度賄えるかを示すものです。日本の食料自給率は、自給率の高い米の消費が減少し、飼料や原料を海外に依存している畜産物や油脂類の消費量が増えてきたことから、長期的に低下傾向で推移してきました。

輸入など海外依存が高まり国内の農林水産業が衰退すると、例えば災害や干ばつ等で流通量が不足したり、価格が上昇した際には、食品を選ぶ自由がなくなり食の安心安全が保てなくなる可能性があります。そのため、日ごろから国産・県産・町産などを意識して選び続け、国内・地域の農林水産業を守ることが、私たちや将来世代の「食の安心安全」を守ることもつながっていきます。

また、食に関しては「三里四方の食よれば病知らず」ということわざがあります。自分の三里四方（約12km以内）で採れた野菜等を食べていけば、健康で長生きできるという意

味のことであります。地域で生産されたものを地域で消費する「地産地消」は、地域で消費するだけでなく、活動を通じて、生産者と消費者を結び付ける取り組みでもあります。顔が見え話ができることから信頼関係が生まれ、その結果として安心安全な農林水産物を購入する機会につながります。

農林水産物は種や苗の植え付けなど多くの作業を経て、長い時間をかけて生産されています。地産地消の活動を通じて、生産者と消費者との相互理解を図ることで、長期的に町の農林水産業は活性化していきます。

地域の食材は「生きた教材」

また、子どものころから生産者の努力を知ることが、食に関する感謝の心を育む上でも大切です。地域の食材は学校給食での「生きた教材」として、地域の自然や文化、農業への理解を深めることに役立ちます。

町や舟形町社会福祉協議会、舟形町食生活改善推進協議会、舟形小学校等の取り組みから、私たちにできることを考えてみましょう。

施策の柱

～ 安心安全な食を知り、地産地消を推進する ～

食品偽装等の問題が何度も起きている現在、食の安心安全を求める声はますます高まっており、食品衛生に関する知識を深め、自ら安心安全な食を選ぶことができるようになることが必要です。

具体的な取り組み

- 地域・家庭
- 地元の産直を利用する
 - 消費期限や賞味期限を正しく理解し、消費する
 - 産地や食品成分を確認し、安心安全な食品を選ぶ

保育・教育機関

- 学校給食における地場産野菜の利用拡大
- 食物アレルギーへ配慮した給食の提供
- 地産地消推進のための給食便りの発行

生産者・関係団体

- グリーンツーリズムなどの農家体験の実施
- 地場産野菜の生産拡大に努める
- 消費者に対して顔の見える販売の実施
- 農薬や肥料の安全使用に努めた環境保全型農業の実施

行政

- 地場産野菜の利用促進の啓蒙
- 食品衛生や食品の安全性についての周知

重点目標

- ・安心安全な農産物の生産に努める
- ・食品衛生や食品の安全性について理解する
- ・学校給食における地産地消を推進する

《計画の目標値》

評価指標	現状値 (H26)	目標値 (H32)
外食や食品を購入する時に栄養成分を参考にする	31.4%	50%
給食における県産農産物（野菜・果実・菌茸類・肉）の使用割合	40%	40%
直売所を良く利用する	20歳以上 18.1%	40%

地産地消を推進

町では、今年から舟形町地産地消支援対策事業がスタートしました。これは、小中学生の農業に対する理解を深めるとともに、町内産の農林水産物等の消費拡大や、食と農を通じた郷土愛を育むために創設されたものです。地産地消給食や、舟形町産野菜を使った調理実習など、子どもたちに五感で舟形の食を感じてもらう機会を提供しています。子どもたちのところから地域の食材や生産者と関わり、食に関心を持つことは、将来「安心安全な食」を自分自身で選択できるようになるために重要なことです。



めがみちゃん給食

子どもの心から「食」への関心を育て

9月15日に「めがみちゃん給食の日」として、舟形町産の食材をふんだんに使用した給食が、舟形小学校で提供されました。この日は、米・ニラ・ネギ・アスパラガス・鮎など9品目が町内産で、児童たちは生産者の方と一緒に、舟形の味を実感しながら給食を食べました。



生産者の方と一緒に給食

給食は、子どもたちに「町の食べ物良さ」を知ってもらい、郷土愛を育む機会の一つでもあります。今後も、子どもたちが農林漁業や農産物等に親近感を感じるように、食への興味関心を持てるような取り組みを引き続き検討していきます。また、地産地消は、私たち一人ひとりが安心安全な食を考えるきっかけの一つでもあります。産地から消

費するまでの距離が短いと、鮮度がよいのはもちろん、輸送コストの削減や農林漁業の活性化など、多くのメリットがあげられます。しかし、安心安全な食という観点では、「生産者から食卓に届くまで顔の見える関係」があることが、最大のメリットとなり得ます。こうした関係の構築のため地域で連携しながら、私たちの食の安心安全や地域の産業を、自らの手で守っていきましょう。



伝える想い

伝わる想い

現在、一人暮らしの高齢者の世帯が全国で増加しています。高齢となるにしたがつて、一人分の食事を多品目作ることが困難になり、栄養の偏った食事となることが懸念されています。偏食は、栄養の低下、筋肉量の減少、活力の低下、食欲の低下につながり、さらなる栄養の低下へつながる悪循環が課題となっています。



旬の食材を使った弁当

高齢者へ弁当を配達

町でも、平成27年4月時点で一人暮らしの65歳以上の世帯が7.4%（山形県健康長寿推進課調べ）で、少子高齢化が進んでおり、今後世帯が増加することが想定されます。

楽しみに待っている人たちの顔を思い浮かべながら、優しい味付けにしています。



澤内勢津子さん（洲崎）

舟形町社会福祉協議会では、7、8月を除く毎週木曜日に「弁当の宅配」を行っています。これは、食生活に困っている一人暮らしの高齢者の方などへ、栄養バランスのとれた食事を届ける取り組みです。平成11年から舟形町食生活改善推進協議会が開始し、平成13年から舟形町社会福祉協議会が事業を引き継いでいます。当時、全国でも一人暮らしの高齢者が孤独死する事件が発生し、町でも高齢化が進んでいました。手作りの弁当や菓子をお届けしながら見守りを行うことで、

その課題を解決しようと始めた取り組みです。利用者の負担は1食300円です。高齢者に配慮した献立を、町栄養士が栄養計算して作成。食材も産直まんさく等で仕入れるなど、できる限り、安全でおいしい旬の町の食材を使うようにしています。

平成28年度は、45名のボランティアのみなさんが、真心を込めて「弁当」を作っています。また、配達の際には、会話を通して孤立しがちな高齢者のみなさんを見守るなど、弁当に詰まったたくさんの人の想いが、心のふれあいという形でも支えています。

誰もが、いつかは今と同じようには食事がとれなくなるかもしれません。私たち一人ひとりが元気で健康に暮らしていくために、地域での支え合いや担い手の育成などを進めていきましょう。

食育・地産地消コラムを始めます

第1回 成人が必要な野菜の一日の摂取量は350gが目安

9月29日の健康ウォーキング教室で、舟形町産野菜の搾りたてジュースが提供されました。トマト、ニンジン、リンゴをジューサーで搾ったもので、成人が1日に必要といわれている350gの野菜が、コップ1杯に詰まっています。

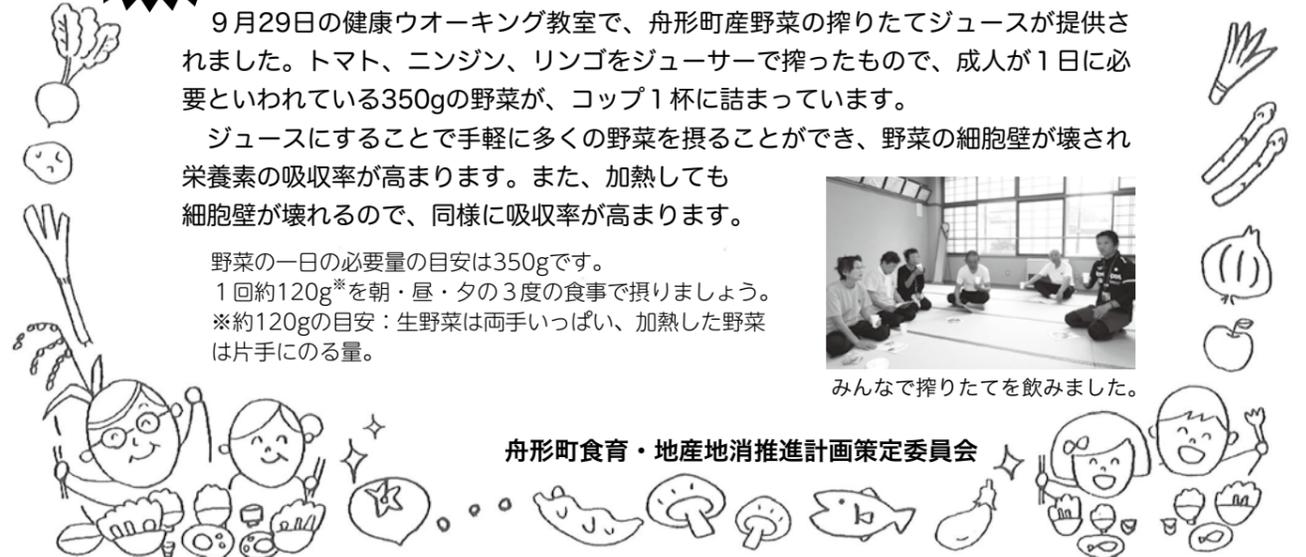
ジュースにすることで手軽に多くの野菜を摂ることができ、野菜の細胞壁が壊され栄養素の吸収率が高まります。また、加熱しても細胞壁が壊れるので、同様に吸収率が高まります。

野菜の一日の必要量の目安は350gです。1回約120g*を朝・昼・夕の3度の食事で摂りましょう。*約120gの目安：生野菜は両手いっぱい、加熱した野菜は片手にのる量。



みんなで搾りたてを飲みました。

舟形町食育・地産地消推進計画策定委員会



Interview ~インタビュー~

私たちの健康は私たちの手で

舟形町食生活改善推進協議会は昭和55年に発足し、「私たちの健康は私たちの手で守る」を合言葉に活動してきました。これからの健康づくりは、自立できる力や生きる力を身に付けることが大切です。会では、保育園での食育啓発や、退職後の男性のための料理教室など、子どもから高齢者までの健康と食について、一人ひとりが自分の健康は自分で守ることができるようになることを目指し、多岐にわたって活動しています。

安全安心な食を選ぶコツは、まず新鮮なものを選び、食品表示や添加物を確認することです。また、衛生への関心を持ち、育て方から安心なものを選ぶことです。特に、地元の食べ物は作り手の顔が見えるため、誰がどのように作っているかがわかり、その分安心できると感じます。

また、最近はTV等の情報が多くなり、消費者の目が肥えてきていると感じます。しかし、放送されたものが本当なのかうそなのかを見抜く力が必要です。どのような情報でも鵜呑みにするのではなく、実際に食べてみて、その上で「自分で判断すること」が大切です。

舟形町食生活改善推進協議会でも、食に関わるさまざまな研修や調理実習などを行なっています。ぜひ一緒に活動しませんか？



県食生活改善推進協議会 町食生活改善推進協議会 会長 沼澤 紀美子さん (舟形第3)

平成27年度決算報告



町のお財布の中身を見る めがみちゃん

町民1人あたりの町税収入は、**79,991円**
町民1人あたりに使ったお金は、**955,551円**
だったミン♪



歳入 58億3,270万円

自主財源	町税	4億6,563万円 (8.0%)
	使用料及び手数料	7,841万円 (1.3%)
	繰入金	5億6,157万円 (9.6%)
	繰越金	2億4,205万円 (4.1%)
	その他	9億7,609万円 (16.8%)
依存財源	地方交付税	21億4,451万円 (36.8%)
	国庫支出金	3億1,315万円 (5.4%)
	県支出金	6億3,199万円 (10.8%)
	町債	4億1,930万円 (7.2%)

23億2,375万円

35億895万円

収入はどうだミン？

町の財布に入ってきたお金(歳入)は、58億3,270万円。みなさんから取っていた大切な税金(町税、固定資産税、たばこ税等)や使用料及び手数料などのお金(自主財源)が23億2,375万円、全体の39.8%を占めています。また、国から交付される地方交付税や、国や県からの補助金、町債などのお金(依存財源)は35億895万円でした。

町の主な事業を紹介するミン♪

- ふるさとづくり応援事業
ふるさと納税を利用した方へ返礼品の送付や「元氣・舟形ふるさとづくり応援基金」への積立、各種PR活動や特産品の発掘などを実施。
7億2,065万円
- 農業振興事業
農業の振興と経営の安定を図るため、園芸作物への転換支援や土地の基盤整備のほか、生産コストを削減するための水稲用高性能機械を導入。
3億9,548万円
- 西ノ前遺跡周辺地区整備事業
西ノ前遺跡を中心とした地区で、遺跡地の保全のほか、自然豊かな公園とするための整備を実施。
7,459万円
- 舟形町総合戦略策定事業
基礎調査等の結果をもとに、舟形町総合戦略推進会議などで議論し、舟形町人口ビジョン及び舟形町総合戦略を策定。
950万円

歳出 55億6,227万円

14億2,663万円	人件費	6億5,490万円 (11.8%)	義務的経費
	扶助費	2億5,541万円 (4.6%)	
	公債費	5億1,632万円 (9.3%)	
30億7,832万円	物件費	7億4,222万円 (13.3%)	一般行政経費
	補助費等	8億6,225万円 (15.5%)	
	維持補修費	1億6,221万円 (2.9%)	
	積立金	6億9,807万円 (12.6%)	
	出資金及び貸付金	1,600万円 (0.3%)	
10億5,732万円	繰出金	5億9,757万円 (10.7%)	投資的経費
	普通建設事業	10億3,249万円 (18.6%)	
	災害復旧事業	2,483万円 (0.4%)	

いくら使ったミン？

一方、町の財布から使ったお金(歳出)は55億6,227万円でした。その内訳は、人件費などの義務的経費が14億2,663万円、物件費などの一般行政経費に30億7,832万円、ものを建てたり災害の復旧にかかる投資的経費に10億5,732万円です。

決算は黒字だミン♪

平成27年度は、前年度より歳入が11億7,345万円、歳出が11億4,508万円それぞれ増加しました。また、歳入から歳出を差し引いたお金の(余剰金)は2億7,043万円です。そこから前年度と翌年度の繰越金を差し引いた1,218万円の黒字に今年度は留まりました。余剰金は、翌年度に繰り越されます。

特別会計って何だミン？

特別会計とは、公共料金や保険料などの特定の収入を特定の目的のために使う会計で、一般会計と区別しています。利用料や保険料などで足りない分のお金は一般会計から出しています。今後もその事業ごとに適正な使用料金を設定して、健全に運営していくことが求められます。

特別会計 歳入 24億7,551万円
歳出 23億2,820万円

	歳入	歳出
国民健康保険事業	8億5,167万円	7億7,751万円
後期高齢者医療事業	6,470万円	6,440万円
介護保険事業	7億7,699円	7億1,620万円
簡易水道事業	3億6,347万円	3億5,743万円
農業集落排水事業	2億2,219万円	2億2,054万円
公共下水道事業	1億9,649万円	1億9,212万円

私たち一人あたりに使ったお金(目的別)

項目別	1人あたりに使ったお金	説明
議会費	13,405円	議会の運営に使用しました。
総務費	339,081円	行政全般の運営管理に使用しました。
民生費	123,380円	障がい者や高齢者、子育てなどの福祉に使用しました。
衛生費	31,101円	保健や環境・衛生の向上などに使用しました。
農林水産業費	121,435円	農業や林業の振興・管理や整備に使用しました。
商工費	18,639円	工業や商業、観光の振興に使用しました。
土木費	120,398円	道路や橋、町営住宅、公園の整備などに使用しました。
消防費	24,529円	消防や救急、消防団の活動などに使用しました。
教育費	69,086円	小中学校や図書館、体育館などの管理運営に使用しました。
災害復旧費	5,798円	災害被害の復旧などに使用しました。
公債費	88,699円	町債(町の借金)の返済に使用しました。
予備費	0円	緊急な対応が必要な場合に備えるお金です。

※人口は、平成27年4月1日現在のものです。(5,821人)

陵風会との合意解約等に関する合意書を締結



解体前の旧堀内小学校

合意内容について

- 特別養護老人ホーム建設計画事業の取りやめ。
- 「地域活性化連携協定(平成27年7月締結)」の解約。
- 「地域活性化連携協定第4条に基づく協議書(平成28年1月締結)」の解約。
- 「公有財産(旧堀内小学校用地)無償貸付契約書(平成28年1月締結)」の解約。

舟形町と社会福祉法人陵風会(鹿児島市)が旧堀内小学校跡地に進めていた、特別養護老人ホーム建設計画を白紙撤回することで、双方が合意しました。

合意するにあたっては、9月定例議会で、和解による解決金の額の決定、解決金(5,341,700円)を含む補正予算が議決され、平成28年9月9日に合意書を締結しました。

また、特別養護老人ホームを建設するための実施設計を陵風会が実施していたことから、町ではその費用(10,683,000円)の2分の1にあたる額を解決金として支払うこととしました。町が支払う解決金以外の計画、準備、実施などにかかった費用は、すべて陵風会が負担します。

この合意書の締結により、特別養護老人ホーム建設計画に係る双方の一切の問題が解決し、今後、いかなる事由があっても、双方は、申出、訴訟、その他一切の請求を行わないこととなりました。

6月定例議会で、町長が特別養護老人ホーム建設計画の白紙撤回を報告してから、ここまで時間を要したのは、建設補助金申請等で県との調整が必要であったことや、陵風会との間で解決金の額や合意解約事項の調整が必要だったことが理由です。

町では今後、旧堀内小学校跡地の利用について、堀内地区の活性化につなげるために、みなさんと意見を交わしながら、検討を進めていきます。

【経過について】
平成27年
7月 社会福祉法人陵風会と地域活性化包括連携協定を締結。臨時議会で、堀内交流センターの設置・管理条例廃止を提案し可決。
12月 堀内交流センター解体工事を完了。
平成28年
1月 臨時議会で、堀内交流センター跡地の無償貸付を提案し可決。
2月 建設予定地の無償貸付契約を締結。
3月 議会全員協議会で経緯説明・協議。
4月 町長が陵風会理事長を訪問・面談、陵風会が運営する東京都内の特別養護老人ホームを視察。議会全員協議会で経緯説明・協議。
5月 富長地区、舟形地区、長沢地区で整備説明会を開催。
6月 町と陵風会が協議した結果、計画が白紙となる。

地域公共交通の未来をまっさら

より良い町営バスや
乗り合いタクシー等の
あり方について

○町営バスの利用が少なく 運営費用は赤字

近年、町営バスの利用者が減少傾向にあります。これは、町内で自家用車を利用している方の割合が増加し、それが、公共交通機関の利用減少につながっていることが要因の一つと考えられます。

しかし、現在も通院や買い物、通学など、町営バスや乗り合いタクシー等を、日常生活に欠かすことのできない交通手段として利用している方もいます。

より良い地域交通のあり方を一緒に考えるため、町営バス等の地域公共交通をみなさんがどのように考えていたり、感じているかについて何意見交換会を開催します。

○地域公共交通のあり方について 意見交換会を開催します

意見交換会では、町営バス等の利用で良い点や不便に感じていることなどを伺います。

今は利用していなくても、10年、20年後に車を運転できなくなった場合、どのように生活したら良いのか、また、子どもが高校等に進学した場合、どのような交通手段を利用し通学させたら良いのかなど、生活を続けていく上で、不安を感じている方もいるのではないのでしょうか。

そのような不安を共有しつつ、抱えている課題を解決するためには、どのような地域公共交通が必要なのか、ぜひ一緒に考えましょう。

《意見交換会日程》

○堀内・富長地区

- ▼日時/11月9日(水) 午後2時～
- ▼場所/農村環境改善センター

○長沢地区

- ▼日時/11月10日(木) 午前9時30分～
- ▼場所/生涯学習センター

○舟形地区

- ▼日時/11月10日(木) 午後2時～
- ▼場所/役場

▼問い合わせ/舟形町まちづくり課企画調整班

☎ (32) 2111 (内線314)

乗り合いタクシー



1,318名が利用 (平成27年度)
1,027名が利用 (平成23年度)

町営バス



6,178名が利用 (平成27年度)
8,515名が利用 (平成23年度)

舟形町スポーツフェスティバル

10月9日、第24回スポーツフェスティバルが舟形町B&G海洋センターなどで行われ、349名の参加者が10種目の競技に分かれてスポーツの秋を楽しみました。結果は次のとおりです。



健康吹矢

準備体操

ラージボール卓球

～結果一覧～

種目		優勝	第2位	第3位
ソフトバレーボール	女子の部	ままクロ チームA	福寿野若妻会	舟形ピンクサンダーズ
	一般の部	チームばばクロ with HIROTO	舟形ビッグビッグサンダーズ	長者原町内会
ソフトボール	団体の部	雨天のため中止		
インディアカ	団体の部	長沢Iチーム	S・F・C Aチーム	長者原町内会
グラウンド・ゴルフ	男子の部	伊藤 勇吉	沼澤 繁治	齊藤 弘一
	女子の部	伊藤 彰子	沼澤 成子	芳賀とも子
	団体の部	長沢第三町内会	内山町内会	幅町内会
ターゲットバードゴルフ	一般男子の部	庄司 一明	相馬 昇	中島 知徳
	レディース・シニアの部	庄司 正宏	奥山 謙三	小國 秀直
	団体の部	太折町内会	長者原町内会	福寿野町内会
ラージボール卓球	男子Aクラス	豊岡 和則	高橋 保美	伊藤 春雄
	男子Bクラス	星川 勝義	高橋喜美男	大場 茂春
	男子Cクラス	高橋 和彦	高橋 正己	-
	女子Aクラス	眞見 静子	鍛冶 知子	伊藤美智子
	女子Bクラス	横尾 富江	伊藤ハツ子	伊藤 豊子
	女子Cクラス	星川 房子	大場 艶子	齋藤 明美
	ダブルス	伊藤 春雄 沼澤さち子	叶内 悦子 眞見 静子	高橋 保美 横尾 富江
ストラックアウト	小学生の部	八鍬 龍士	黒坂 悠大	森 柊介
	一般の部	佐藤 寿幸	田中 雄	井上 善己
	団体の部	舟形第三町内会	紫山町内会	富田町内会
ゲートボール	団体の部	長沢Bチーム	太折チーム	長沢Aチーム
健康吹矢	団体の部	長者原町内会A	福寿野町内会A	長者原町内会D
ウォークラリー	小学生の部	幅子供会	-	-
	混成の部	幅町内会	-	-

舟形町名誉町民 伊藤茂元運輸大臣を偲んで

舟形町名誉町民で元運輸大臣の伊藤 茂氏が、9月11日にご逝去されました。享年88歳でした。

伊藤 茂氏は舟形村に生まれ、舟形小学校、新莊中学校（現新庄北高等学校）、旧制山形高等学校、東京大学経済学部を卒業後、日本社会党中央本部に勤務されました。

昭和51年に神奈川県第1区から衆議院議員選挙に出馬し、初当選。以来8期連続23年半にわたり国政を支えてきました。その間、日本社会党政策審議会議長と副委員長、社会民主党で政策審議会議長、幹事長、副党首等を歴任。4野党連合政権時には、政権の中心で活躍され、平成5年8月、細川連立内閣に第67代運輸大臣として入閣されました。

大臣就任直後の9月に舟形町へ里帰りされ、町では、大臣就任を祝う会が舟形町中央公民館において盛大に執り行われました。また、山形新幹線新庄延伸の際には、運輸大臣として計画の基礎づくりに尽力され、新庄延伸が実現しました。

伊藤 茂氏は常に先を見据えた先見性をもって、今日の日本の発展に尽力されました。郷土の誇りとして、子どもたちが将来進むべき道標となり、大きな夢を与えてくださいました。平成14年には、伊藤氏の功績を称え、本町では9番目の名誉町民の称号が贈られています。

故人の生前の業績とお人柄を偲びつつ、心からご冥福をお祈り申し上げます。

～伊藤 茂氏の主な経歴～

- 昭和 3年 舟形村（舟形第2）に生まれる
- 昭和16年 舟形小学校卒業
- 昭和27年 東京大学経済学部卒業
- 昭和29年 日本社会党本部に勤務
- 昭和34年 日本社会党国民運動委員会事務局長
- 昭和44年 日本社会党中央執行委員・国民運動局長
- 昭和51年 第34回衆議院議員総選挙初当選（旧神奈川1区）
- 昭和61年 日本社会党政策審議会議長
- 平成 3年 日本社会党副委員長、影の内閣副首相
- 平成 5年 細川内閣成立、入閣して第67代運輸大臣に就任
- 平成 8年 社会民主党副党首兼政策審議会議長、与党大蔵改革プロジェクトチーム座長として日本銀行法改正や大蔵省改革の取りまとめ、社会民主党副党首兼幹事長兼政策審議会議長
- 平成10年 社会民主党幹事長、副党首
- 平成12年 引退記者会見、8期23年半の国会活動を終える
- 平成14年 第9号舟形町名誉町民称号受章
- 平成28年9月11日 永眠



今場所の琴福寿野さん

平成28年九月場所 国技館(東京) 9月11日~25日



4勝3敗

関取目指して、頑張れ!!

琴福寿野勝太さん(福寿野出身) 東三段目6

舟形町民
みんなで応援します!

2日目 ●寄り切り	西三5	笹山
4日目 ○小手投げ	西三7	玉輝
6日目 ●押し出し	東三9	荒篤山
8日目 ○押し出し	東三8	駒木龍
9日目 ○寄り切り	東三10	松葉山
12日目 ●押し出し	西三8	湘南乃海
13日目 ○押し出し	西三10	木瀬乃若

新教育委員長を選任

わだい④

10月3日、中央公民館で教育委員会が開催され、教育委員会委員長 太田二三男氏(舟形第4)が任期満了で退任するのに伴い、新たな委員長に高橋純康氏(富田第2)が選任されました。このほか、委員長職務代理者には木島広人氏(洲崎)が再任。また、会に先立って、沼澤 啓氏(舟形第1)が町長から新しい教育委員に任命されました。

今後、町教育行政の方向性の検討など、幅広い知識での活躍が期待されます。



人間ばん馬で盛り上がる

わだい⑤

10月2日、第1回舟形町人間ばん馬競技大会がアユパーク鞍馬大会会場で開催されました。これは、6年前まで開催されていた東北鞍馬競技舟形大会の文化と若者の活気を引き継ぎ、地域全体を盛り上げることを目的としたもので、もがみ南部商工会青年部を中心とした実行委員会(委員長 遠藤 寛さん)が、4年間の構想を経て実現しました。大会には9チームが参加し、騎手が乗ったソリを7人が引っ張り、力を合わせて110m先のゴールを目指しました。



数え99歳の長寿を祝う

わだい①

9月15日、鈴木谷五郎さん(西堀)宅へ吉村県知事が訪問し、県内の白寿(99歳)を代表してお祝い品が手渡されました。俳句が趣味の鈴木さんは、つや姫を詠んだ「握り飯つや姫にして今年米」などを披露。ぜひ知事室に飾りたいと感謝する知事に、句をしたためたものを贈呈しました。また、16日には、えんじゅ荘で敬老祝賀式が行われ、白寿を迎えた伊藤仁子さん(堀内)に県知事からのお祝い品が贈られました。



咲かせよう10年の絆

わだい②

9月21日、仙台市立五橋中学校の野外活動実行委員など2年生8名が、稲刈り体験に訪れました。刈り取りは、5月に五橋中2年生が田植えをした福寿野の奥山レンタル農園で行われ、管理してくださった奥山政憲さんや地域のみなさんが、鎌の使い方や杭掛け方法などを丁寧に指導しました。

稲刈り後には、この温かい交流が10周年を迎えたことを記念して、大山桜2本を農村環境改善センターに植樹しました。



生活習慣を見直してみよう

わだい③

9月28日、平成28年度糖尿病予防検診結果報告会が、農村環境改善センターで行われました。講師に山形大学医学部の内科医 大泉俊英氏と眼科医 難波広幸氏を迎え、町での検診結果の報告や健康相談等を行いました。

検診の結果、糖尿病型と判断された町民は、男性14.4%(前回9.4%)、女性11.6%(前回8.1%)と5年前の検診と比較して増加し、年代別では年齢と比例して多くなる傾向が見られました。



10/11 山形県北部地区郵便局長会最上南部会
地域に根差した郵便局



▶役場へのベビーベッド設置のほか、木製玩具等が町に寄贈されました。

10/1 板垣光昭さん(新堀)
人権擁護委員委嘱



▶板垣さんが、法務大臣から町の人権擁護委員に再任されました。

9/21 光生園防災訓練
日ごろの備えが重要



▶光生園で、入所者の安全確保や避難誘導、消火訓練などが行われました。

9/21 平成28年度敬老祝賀式
町の長寿のみなさんを祝う



▶お祝い品が贈呈されたほか、三味線演奏等の催しが行われました。

9/17 ほほえみ保育園運動会
赤組頑張れ白組頑張れ



▶家族や地域のみなさんが見守る中、一生懸命競技に取り組んでいました。

7/27 野尻益夫さん(内山)
国民健康保険事業で貢献



▶山形県国民健康保険団体連合会表彰を受賞されました。

ふれあい広場 VARIETY INFORMATION

あなたの声をお寄せください
まちの話題、疑問、質問、提言、意見のほか、会員募集やリサイクル情報（譲りたい、譲ってほしい）、イラストなど何でも結構です。広報紙上でできるだけ紹介します。

まちづくり課 企画調整班
☎(32)2111(内線313)

11月の納期

- ◆国民健康保険税3期
- ◆介護保険料5期
- ◆後期高齢者医療保険料3期

11月30日(水)まで
忘れずに納税しましょう。

タバコは町内で買ひましよう。 11月の舟形若あゆ温泉の
8月のタバコ税は1,978,216円 休館日は、9日(水)

チーム舟中新人戦で奮闘

9月17・18・24日に、最上地区中体連新人体育大会が、さばね山相撲場などで行われました。チーム舟中は、柔道女子団体と個人、バドミントン男子団体や陸上競技で第1位となるなど、持てる力を精一杯出し切りました。主な結果は次のとおりです。

【ソフトテニス】 女子個人 第3位 叶内千捺・伊藤心音 組 【卓球】 男子個人 第2位 八鍬純也(北ブ) 女子団体 第2位(北ブ) 女子個人 第2位 高山千尋(北ブ) ベスト8 佐藤未麗(北ブ) 【柔道】 女子団体 第1位(北ブ) 女子個人 第1位 沼澤はる(北ブ) 第1位 溝口 葵(北ブ) 男子個人 第2位 沼澤虹太郎(北ブ) 第3位 平賀将義(北ブ) 【剣道】 男子個人 第3位 曾根田祐介(北ブ) 女子個人 ベスト8 森 恵理(北ブ) 【バレーボール】 第2位(北ブ) 【サッカー】 ベスト8 【バドミントン】 男子団体 第1位(県大) 男子個人シングルス 第3位 五十嵐優陽(県大) 男子個人ダブルス 第3位 伊藤衣吹・豊岡怜央 組(県大) 第3位 星川 瑛・沼澤 尋 組(県大) 【相撲】 団体2部 最上地区 第2位 県大会 第2位 1年生の部 八鍬颯太 最上地区 第3位	【陸上】 男女総合 第3位 男子 共通110mハードル 第1位 伊藤貴陽(県大) 共通400m 第3位 伊藤衣吹 共通800m 第5位 伊藤衣吹 共通3,000m 第6位 井上絢翔 400mリレー 第5位 木村陸飛・伊藤衣吹・吉田颯斗・伊藤貴陽 共通砲丸投げ 第1位 井上ヤマト(県大) 共通走り高跳び 第6位 沼澤 蓮(県大) 共通走り幅跳び 第7位 木村陸飛(県大) 女子 2年100m 第4位 下山きらり(県大) 2年100m 第6位 千葉 萌(県大) 共通100mハードル 第3位 千葉 萌(県大) 共通200m 第2位 下山きらり(県大) 共通800m 第3位 海藤さくら(県大) 共通800m 第8位 叶内遙菜 共通1,500m 第4位 海藤さくら 400mリレー 第2位 千葉 萌・下山きらり・叶内愛織・叶内遙菜(県大) 共通砲丸投げ 第2位 溝口 葵(県大) (※柔道で出場のため辞退) 共通走り幅跳び 第1位 叶内愛織(県大) 共通走り高跳び 第4位 信夫那月(県大) (※バレーボールで出場のため辞退) 共通走り高跳び 第8位 三原瑚白(県大)
--	--

北ブ…北ブロック大会出場
県大…県大会出場

○空間放射線量測定結果
測定日/10月4日(火)

測定場所	天候	測定値(μsv/h)	
		0.5m	1m
舟形小学校	晴	0.04	0.04
旧堀内小学校	//	0.04	0.04
富長交流センター	//	0.04	0.04
長沢交流センター	//	0.04	0.05

○水道水に含まれる放射性物質測定結果
測定日/9月23日(金)

採水場所	ヨウ素	セシウム
舟形町役場	不検出	不検出

～人体に影響はありません～

新刊書の紹介

(舟形町中央公民館図書室)



スウィング!
ルファス・バターラー・セダー 著

ページを開くとアスリートが美しく動き出す。もし、君がバットを振り回し、サッカーボールもければ。アニメーション映像を見ているような新感覚のしかけ絵本。



それいけ!ぼくのなまえ
平田 昌弘 著

ぼくの名前はこうだ。ぼくは名前が書けるんだ。名前を書いたらぼくのもの。全部が全部ぼくのもの。そして、一番大事なところにも。自分の名前を書く喜びがいっぱいの絵本。

＜秋季火災予防運動＞

実施期間 11月9日(水)～15日(火)
全国統一防火標語 「消しましょう その火その時 その場所で」

これからは寒くなって、暖房器具を使用する機会が増えてきます。暖房器具の点検と周囲の整理をし、火の取り扱いには十分注意しましょう。
実施期間中、町では朝と夕方に防災無線のサイレンが鳴ります。サイレンを火災と間違わないようご注意ください。

住宅防火 いのちを守る 7つのポイント

- <3つの習慣>**
 - ・寝たばこは、絶対しない。
 - ・ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
 - ・ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。
- <4つの対策>**
 - ・逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
 - ・寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。
 - ・火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
 - ・お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

▼問い合わせ/舟形町総務課危機管理室 ☎(32) 2111 内線 (232)

舟形文芸ひろば

短歌

浴槽の蓋に張りつく蜻蛉あり露は失せりと窓開け放す

木瓜の花の会 佐藤 景雄(沖の原)

畔道の底潜みいてつゆ草の誰が眼求めて背伸びしをりぬ

木瓜の花の会 佐藤 和夫(西堀)

【千風会「晩秋」】

中秋の名月に供うる栗飯の栗は「八十路夫婦」拾いし宝

千風会 森 勝広(舟形第四)

収穫の秋とは云えど異常気象ものみな期待はずれに悲し

千風会 畠山 ひろみ(木友)

野分けいままスパー台風に変身か列島かまえて迎う秋雨の季節

千風会 景山 晃佑(仙台市)

四方の尾根しづもりて晩秋を呼ぶ群なす赤蜻蛉の穂波にからまり

千風会 小野 光子(真木野)

静波の夕陽を浴びてゆれてゐる台風去りしひと晩秋のいのち

千風会 沼澤 千鶴子(鶴陽)(舟形第四)

娘らの「行つてきます」の吐く息白く整う身支度霜降の朝

千風会 吉田 智子(盛岡市)

俳句

老ひの身の月日速かり枯れ落葉

木瓜の花の会 伊藤 良文(舟形第四)

豊作や案山子に御神酒そなえけり

木瓜の花の会 佐藤 孝子(舟形第二)

弧を描く七色くつきり鮎の川

朝の会 齊藤 若子(内山)

残照の里の平らに稲の秋

朝の会 佐藤 昭子(長沢第一)

名月や眺めて今宵五七五

朝の会 大場 小夜子(内山)

今朝ことに空広がりに稲雀

朝の会 柏木 伸子(長沢第三)

とめどなきこみ上げるもの秋彼岸

朝の会 高橋 ふき子(長沢第三)

曼珠沙華真赤に咲いて鉢の中

朝の会 真見 七生(舟形第四)

晴るる日や遠く消え行く秋の虹

ローマ俳句クラブ 井上 淳子(野)

スイカ食べまんぞくしたよ山形県

ローマ俳句クラブ 井上 笑(野)

当季三つ物(連句)

蔓たぐり淋しくなりし野畑かな

煙管のけむり揺らす裏風

ちゝろ鳴く厨に古茶の香るらん

北陽社

付合句

峠路に県境多しわし雲

鳥瞰に見る郷はさやけし

井上 玲虹(野)

大沼 寿生(山形市)

9月2日～10月1日届出分

お誕生おめでとうございます

西堀 佐野 有 (麻衣)

おくやみ申しあげます (世帯主)

沖の原 渡邊 昭雄 84 (雄一)
8月2日～9月1日届出分

長沢第1 大場 昇子 75 (喜美男)

長沢第2 加藤 諭 89 (修一)

長沢第3 高橋 武美 75 (本人)

西堀 小松 光栄 89 (本人)

堀内 伊藤 清美 80 (水野幸)

えんじゅ荘 伊藤サダエ 89 (本人)

ほなみ 大沼キエ子 95 (本人)

掲載を希望される方は、届け出の際にお申し出ください。

人口と世帯

9/30 (現在)	男	: 2,766人 (-3)
	女	: 2,864人 (-10)
	計	: 5,630人 (-13)
世帯		: 1,888世帯 (-2)
()は前月比		

選挙人名簿登録者数 (9/2現在)

男性	2,335人
女性	2,492人
計	4,827人

ふな こい

舟恋

～Vol.55～

～地域おこし協力隊員のつづやき～

地域おこし協力隊の宇都木俊昭、出井浩貴、太田和慶、長江亨です。このコーナーでは、私たちが舟形町の魅力を発見し、地域のみなさんにお伝えしていきます。

今月は、出井隊員と太田隊員の活動を紹介します。

今月の出井隊員

10月2日、「第一回舟形町人間ばん馬競技大会」にフットサル仲間と参加しました。110mのコース内には二つの山があり、特に二つ目を越えることは想像以上に困難で、ゴールした後は、疲労と息切れで倒れこんでしまいました。

しかし、みんなで声を掛け合い、呼吸を合わせてゴール目指した一体感と、全員でゴールした達成感は何物にも代えがたい経験となりました。みなさんも地域を盛り上げる新しい行事へ、一緒に参加しませんか。



呼吸を合わせて引っ張りました

今月の太田隊員

9月21・22日、仙台駅のステンドグラス前で「魅力と味力の彩りまつり」が行われました。舟形若あゆ温泉からも出店し、新商品「鮎ごはん」をメインに販売してきました。

また、舟形町産ラズベリーの販路開拓もイベント開催期間中に実施。仙台でもまだ国内産ラズベリーの認知度が低いことや、需要があることを改めて知りました。お客様に商品を通して貢献ができるような営業を、今後も目指していきたいと思ひます。



新商品の「鮎ごはん」

ここでは書ききれない日々の活動や暮らしのこと、想いを綴った日記(ブログ)をインターネットで公開しています。ご意見・応援のメッセージなどをお寄せください。

- ★宇都木俊昭ブログ『舟形町より愛をこめて』<http://ameblo.jp/toshiaki1007/>
- ◎出井浩貴ブログ『徒然なるままに』<http://ameblo.jp/idei0427//4334/>
- 太田和慶ブログ『んまい!ふながた』<http://ameblo.jp/kazuyoshi-ohita/>
- ◇長江 亨ブログ『ながえものガタガタ日記』<http://ameblo.jp/toru-nagae0513/>

総務課 No.378

青いシグナル



新庄警察署長が地域安全運動メッセージを伝達

高齢者の交通事故防止推進強化月間

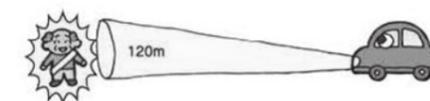
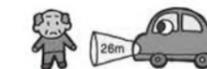
◆期間：10月15日(土)～11月14日(月)

山形県内の交通事故死亡者は、高齢者が5割を超える割合で推移しています。夕暮れが早まるこの時期は、夕方から夜間にかけての交通事故が多く、特に高齢者の道路横断中の事故などが懸念されます。高齢者に限らず家族みんなで注意して、安全で安心な事故のない社会を作りましょう。

＝夜光反射材の着用と早めの点灯を！＝



夕暮れ時から夜間にかけての歩行には、『夜光反射材』が付いたタスキやリストバンドなどを身に付けるなど「目立つ」「見せる」ことが大切です。ドライバーも夕暮れ時に「早めの点灯」をすることで、お互いに「見る安全」「見せる安心」を実践し、交通事故防止を図りましょう。



成人式を迎えました!



山科 梨沙さん(富田第2)

カメラアングル camera angle

家族からのメッセージ

成人おめでとう。美容師になる夢を叶えましたね。これからも一生懸命がんばって、立派な美容師になってください。梨沙を家族みんなで応援しています。

父 秀樹さんより
母 由香さんより



2歳頃の梨沙さん

- ◆現在の職業は?.....美容師
- ◆自分を一言で?.....優柔不断
- ◆夢は?.....自分の店を持ちたい
- ◆趣味は?.....ネイル
- ◆尊敬する人は?.....両親
- ◆舟形町の良いところは?.....自然がいっぱいで、人がとても優しくて落ち着く町
- ◆10年後の舟形町は?.....もっと素敵で自然が豊かで、あたたかい町
- ◆成人式を終えて一言.....今まで育ててくれた両親に感謝して、自分を支えてくれたみなさんに恩返しできるようにがんばります

まつはしやくしによらいせんまいばら
松橋薬師如来洗米鉢

松橋町内会で地域のたからとして大切に伝えられてきた洗米鉢。松橋薬師瑠璃光如来座像とともに、普段は厳重に保管されています。

現在、毎年1月1日のみ、薬師堂が御開帳となり、座像とともに見ることができるとのことです。

※洗米鉢発見時の記事等は「ほりうちふれあいだより」10月号にも掲載されています。



(平成28年9月撮影)

舟形町指定文化財
(昭和60年2月9日指定)
所在地：松橋薬師堂
所有：松橋薬師如来保存会

木製品。トチと思われる原料をろくろで削り成形している。口縁部直径42.3cm、高さ16.1cm、底部直径26.6cm、高さ3.4cmの高台がある。厚さ1.2cm。底部の一部と口縁部の一部が破損している。素木のままで漆など塗っていない。内側と外側のろくろ目が美しい。重量2.26kg。

本洗米鉢の外側面に「奉納南無薬師十二神御鉢」「元龜三壬申四月八日」「諸願成就□□□□」「松橋村」と5行にわたって墨書してある。また、底部中央に「南無薬師十二神□□」その左右に「松橋」「別当代也三蔵院」「諸病悉除」の墨書がある。

本洗米鉢の墨書により元龜3年(1572)に松橋村の人々が薬師如来に奉納されたことが知られる。紀年銘のある洗米鉢としては県内最古のものと思われる。松橋薬師如来座像は霊峰葉山の本地仏として山頂にまつられていたが、大同元年(806)、字ユカエ越えに移され、更に現在地に移されたという。この年代については疑問もあるが、本座像は識者の鑑定によれば、藤原仏といわれ郡内では最も古く最も美しい仏像である。なお、この薬師如来は人々の病苦、特に眼病を治す仏として信仰が厚い。本洗米鉢は薬師如来座像と共に当地の葉山信仰の歴史を物語る資料として貴重である。

※「□」は判読が難しい文字です。
『舟形町の文化遺産』より抜粋

～11月の主な行事予定～

- 1日 自治功労表彰式(中央公民館)
- 3日 町芸能フェスティバル(中央公民館)
- 9～19日 町総合文化展(中央公民館)
- 16日 ふながた家族新聞コンクール表彰式(中央公民館)
- 16～24日 保小中学校セーブメディア期間
- 18日 町PTA連絡協議会・町教育懇談会
- 25日 町高齢者フェスティバル(中央公民館)

舟形町のCMを、毎年「山形ふるさとCM大賞」へ出品しています。今年は、町内の高校生にアイデアを出してもらい、舟形町の温かい町民性を表現するようなCMを一緒に作りました。ご協力いただいたみなさん、本当にありがとうございました。

▼放送予定/12月5日(月)午後7時～7時54分
▼放送局/YTS山形テレビ(しゅん)

